

令和7年度 政務調査研究報告書

(様式C)

会派名	無会派	支出伝票No.	なし
事業名	最新の道の駅の動向調査		
事業区分 (該当へ〇)	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤陳情等活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費		

(1)この事業の目的：どんな課題を解決するため あるいは誰・何を対象に何を意図するのか

昨年10月に飯田市に道の駅がオープンしたが、最新の他の道の駅を調査し、今後のあり方を検討する材料にする。

(2)実施概要

調査・研修の場合の実施	日時	訪問先・主催者等
日時と訪問先・主催者	令和 7 年 1 1 月 2 7 日 16時00分～ 17時00分	愛知県日進市 マチテラス日進
報告内容・実施したこと	<p>1 視察先（市町村等）の概要</p> <p>日進市は名古屋市に接し、多くの大学、研究機関が存在する田園学術都市であり、人口増加率では1995年から2000年では全国1位の町。日進市の現在の人口は約94,000人で飯田市とほぼ同じ。道の駅マチテラス日進は令和7年8月8日オープンの最新の道の駅。</p> <p>2 視察内容</p> <p>道の駅の立地と施設規模、施設内容等の観察。指定管理者、および市からの聞き取り。</p> <p>新しい道の駅としての機能をふんだんに盛り込んだ、全国的にもあまり例を見ない道の駅。整備コンセプトが『市民が集い にぎわい 成長し 都市をデザインする道の駅』。とくに都市をデザインする道の駅というコンセプトが新しい。まちづくりと連携して日進市の付加価値を大いに高めている。『住みたい町』をうまく実現している。</p>	
感想（まとめ）・市に活かせること等	<p>最新の道の駅だけあって多彩な機能を盛り込んでいるが、その分予算規模がかなり大きくなっている。子育て支援的な機能も持たせており、子育て世代にとって魅力的な施設の存在は移住者の獲得にも貢献すると思われる。かなり広い農産物等の販売スペースが確保されており、地元の農業の振興にも寄与すると思われる。</p> <p>飯田市も観光振興型の道の駅よりもこのような住民、地元農業密着型の道の駅のあり方を目指してはどうかと思う。</p>	

(3) この事業実施後の対応及び方向性

飯田市においても新しい道の駅を模索すべきと考える。